

令和7年度 第2回 文化財保護委員会会議録

- 日時：令和7年12月14日(日)午後3時から午後4時まで
- 場所：宮代町郷土資料館2階会議室兼資料取扱室
- 出席者：新井浩文委員長、長谷川清一委員、青木秀雄委員、井上海委員、荒木謙勝委員、鈴木晶委員
島村圭一教育長、飯山保孝室長、山崎健司主査、河井伸一主査、横内美穂主査、中村啓子主任
- 欠席者：中村誠二委員
- 傍聴者：0名

会議次第

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 委員長挨拶
- 4 議題
 - (1) 次回 宝生院文化財調査における調査項目の確認について
 - (2) 今年度文化財案内板設置場所について
 - (3) 来期 文化財保護委員の公募について
 - (4) その他
- 5 その他
令和7年度特別展「笠原沼の造成と新田開発について」

【会議記録】

横内主査 それではただ今から令和7年度第2回、文化財保護委員会を開会させていただきます。本日の進行は文化財保護担当主査の横内が務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。それでは、次第に従って進めさせていただきたいと思います。開会に際しまして、島村教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

島村教育長 あいさつ

横内主査 ありがとうございました。続きまして、委員長よりご挨拶いただきたいと思います。お願ひいたします。

新井委員長 あいさつ

横内主査 ありがとうございました。それでは、宮代町文化財保護委員会規則第9条の規定によりまして、これから議事進行は新井委員長にお願いしたいと思います。

なお、第9条第2項の規定における過半数の出席がございましたので、本日の会議は成立となります。それではよろしくお願ひいたします。

新井委員長 それでは、次第に基づき進めていきます。

「(1)宝生院文化財調査における調査項目の確認」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 今回、調査が予定されていましたが、前住職が亡くなつたため、会議にさせていただきました。次回、2月末から3月に、第3回の会議を考えています。この時には調査をお願いできると思います。

新井委員長 前回調査に参加された委員さんから、追加調査を要するものがあればお願ひします。まずは、島村教育長からお願ひします。

島村教育長 釈迦堂は非常に凝った彫刻なので、引き続き調査できればよいと思います。それから、ハクビシンと思われる獣害もありました。

新井委員長 それでは各委員に順次お聞きします。長谷川委員いかがですか。

長谷川委員 前回の調査は所用で最後まで参加できなかつたので、どのような課題があるか把握できていません。

青木委員 全体的に写真撮影で終わっていますので、仏像や絵馬など、個々の資料について計測をする必要があります。釈迦堂は改めて調査をしたほうが良いと思います。

鈴木委員 私は建物の平面図作成を目標に調査し、作成したものをお配りしました。柱のサイズと柱間の距離を調査し、そこから統一性を見出したかったのですが、まだ見えていません。次回は、個々の数値を基に、自分なりにあたりをつけて調査し、平面図を完成したいと思っています。

荒木委員 私は写真撮影しました。お堂の中は非常に暗くて、フラッシュの使用を工夫して撮影しましたので結果を見て、追加撮影して記録に残したいと思っています。

事務局 荒木委員が撮影した写真と事務局が撮影した写真からピックアップして回覧します。今後必要になるものは、本堂の全体的な配置図です。写真は本堂内、釈迦堂内ともに全体がわかるもの、それと内陣の配置図が必要です。

今回、本堂の中では、西国八十八か所巡りの扁額が1点、絵馬が1点、板石塔婆が数点見つかりましたが、板石塔婆以外は未調査なので、清掃、計測、写真撮影が必要と考えます。

また、内陣の中から1点、内陣に向かって右側の部屋から1点、未調査の和鏡が出ており、和鏡を立てる台には年号があるようなので計測する必要があります。

また、内陣の一番奥の壁に向かって、三尊像や釈迦像と思われる仏像が数点見つかりており、歡喜天と思われる小さい仏像もありました。全体を把握し、計測と墨書き等の確認をする必要があります。

それから、前回の調査の時に、内陣に向かって右側の部屋からは元禄の年号の経机、それから左側の部屋からは正徳の年号の長机が見つかり、墨書きの写真撮影

- や筆耕は終了していますので計測が必要と思います。まずは事務局の方で配置図を作り、皆様に分かれて計測していただきたいと思います。
- 新井委員長 資料リストはありますか。
- 横内主査 まだ未作成です。調査で文字が書かれているものは和鏡の台、長机、幟1組です。経机は朱で文字が書かれており、筆耕は終了していますが、経机の裏面に「前机、脇机、盤台、灯台以上の品、この経机と共に作られる」という文字があり、それらが残っているのかどうか確認したいと思います。
- 新井委員長 ちなみに経机は年号入りですか。
- 横内主査 はい、元禄11年、長机は正徳3年です。長机は進修学校で使用したという伝承があります。釈迦堂には、彫刻の他、拝みの絵馬が3点あり、石造りで古そうな香台と蠟燭立てもありました。
- 島村教育長 宝生院の本尊は釈迦三尊ですか。
- 青木委員 不動明王が本尊だと思います。姫宮神社の関係で釈迦三尊が関係していると思います。姫宮三神の本地仏が釈迦三尊です。
- 横内主査 須弥壇には不動明王、その横にある台に釈迦三尊が乗っていました。
- 新井委員長 今後の調査日程をどのように考えていますか。
- 横内主査 2月末から3月2週位までに調査を行いたいと思います。本堂か釈迦堂のいずれかを調査するか、あるいは、事務局である程度進めて、残りを委員の方々にやっていただこうという方法とするか考えています。
- 青木委員 予め資料リストを作り、調査項目を上げてもらえば調査が円滑になると思います。
- 横内主査 釈迦堂は全員が中に入ると狭いので、外側から測量するグループと、中で調査するグループに分けた方が良いと思います。
- 青木委員 宝生院の本堂や釈迦堂の配置は社寺総合調査で行っていましたか。
- 河井主査 社寺総合調査に掲載されていたと思います。新井家は西原組の名主、小島家は百間中村の組頭の家なので文書から配置図を探してみます。
- 青木委員 宝生院の入口は元々、釈迦堂に向かっていました。今は本堂に向かうようになっています。
- 新井委員長 井上さん、前回の調査資料の写真を見ていかがですか。
- 井上委員 調査に参加していないので写真を見た感想ですが、仏像もたくさんありますね。剥落が進んでいるので、現状の写真が記録として残るのは良いと思います。色が思った以上に残っています。
- 新井委員長 それでは事務局には、次回調査に向けた準備をお願いします。次に「(2)今年度文化財案内板設置場所について」、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 西光院にある埼玉県のふるさと歩道で作った案内板が非常に傷んでいるため、今年度は新たにカラーにして板面の張り替えをしたいと考えています。また、経費が安く済んだため、地図に誤りがあった東条原鷺宮神社の案内板も張り替えた

いと思います。また、万年堰の案内板も川下、川上の間違いがあったため直します。宝光寺も地図が間違っていると荒木委員から教えていただいたので直します。西光院は徳川家康画像、栗田焼の茶碗と刻印、東京国立博物館が所有している日光道中分間延絵図の掲載許可をとり、カラー写真で進めています。

東条原鷦宮神社は作成した平成8年当時は無形民俗文化財として東条原鷦宮神社獅子舞が行われていましたが、獅子舞が行われなくなり、現在は有形民俗文化財として獅子舞用具が指定されているという内容にしております。

写真は平成と昭和40年代の獅子舞、指定文化財獅子舞用具のカラー写真、白岡の仏像彫刻家立川金禄による御神体の写真、荒木委員からご提供いただいた焼失前の社殿を使用したいと考えております。

新井教育長 これまでの調査結果を踏まえた案内板の改訂ですね。この案内板の材質は？

河井主査 以前はFRPでしたが、作成できる業者がなくなりました。今まではメタリックフォトプレートを使っていて白黒で永年といわれています。カラーはインクジェット用紙にUV加工で、7年間保証で退色する可能性があります。ただし、FRPより安価という利点もあり、今後、歴史の新発見もあることを考え、10年、15年後に案内板を見直してもよいと考え、カラーで作成します。また案内板にはふるさと納税で作られている旨、記載します。

新井委員長 「(3)来期 文化財保護委員の公募について」、事務局より説明をお願いします。
横内主査 今年度で文化財保護委員の2年の任期が終わります。広報1月号に募集記事を掲載します。公募委員におかれましては、可能であれば応募いただきたいと思います。また、専門委員におかれましても引き続きお願いしたいと考えております。

新井委員長 ほかに皆さんからのご提案などはありますか

島村教育長 情報提供です。西光院の本堂の唐破風に大きな穴が空いていましたが、西光院が直すことになりました。

横内主査 五社神社の本殿の両壁面ですが、板がやせた上、昭和の修繕の金釘が錆びたことでかすがいが取れて、板が下に落ちてしまいました。指定文化財の御神体は、寄託申請を受けて資料館で預かっています。また、現在、防災設備が個人宅に置いてありますが、諸般の事情から、拝殿の中に防災監視システムを、との意見があります。本殿修理の見積は金剛組から、防災監視システムは飯能市の八州防災に無人の防災管理システムについて相談しています。なお、五社神社に放水銃はありません。

長谷川委員 今年度、縄文土器づくり教室が、煙の問題などで実施できませんでしたが、その後、適切な場所は見つかりましたか。例えば須賀小の今度建て替える場所は周りが田んぼで、住宅が遠い。そこも候補としては考えられないでしょうか。

河井主査 今後、考えていきたいと思います。

- 新井委員長 今後も、今までやってきたことができなくなることが増えると思います。柔軟に対応していただきたいと思います。
- 横内主査 慎重審議、ありがとうございました。この後、次第の通り、現在開催中の特別展「笠原沼の造成と新田開発」をご見学いただきたいと思います。
- 河井主査 西光院の文化財案内板を張り替えるというお話がありましたが、3月20日に新井委員長に「西光院の歴史と文化財」という講演をいただくことになっております。
- 横内主査 それではこれを持ちまして、令和7年度第2回会議を終了させていただきます。

【会議終了】

